



溶接の技術を活かした、丈夫で軽い車椅子をつくりました

座り心地を追求してつくる車椅子はアルミフレームによる安全性はもとより、様々な場所の高さや位置を微調整できるようにつくられています。「座り心地というのは曖昧な機能になるので難しい部分もありますが、私たちはその価値を明確にしてモノづくりをしています。私たちのつくる車椅子は、自分の靴やメガネとかと同じで、合わないとか全く意味がないというのが原理原則です。介護の世界でも一緒です。100人いれば100人とも違うのが当たり前だと思いますね」と話すのは、カナヤママシナリー株式会社の金山宏明社長です。

座り心地を追求する

車椅子をつくったきっかけ

「約20年前に青年会議所で身体障がいのある子どもたちをデイズニードランドに連れて行く『天使の翼』事業でボランティアとして参加したときに私自身が介助をする中で腰が痛くなった経験がありました。初めは介助が大変だからだろうと思っていましたが、その後にいるいる調べたり聞いたりすると、原因は車椅子のバランスの悪さであるということも分かりました。車椅子に疑問や関心を持ち始めた金山社長は、長崎県でバリアフリーのデザインに取り組んでいる方が、「今(当時)の車椅子は障がい者や高齢者を乗せることが目的になっていて、座り心地のいい椅子としての機能は満たされていない」と話された言葉に大きな共鳴を受けて車椅子の開発に動き出しました。ボランティアの経験から学んだことや、振動で外れやすく重たいボルトだけで留められていた当時の車椅子から、カナヤママシナリーの真空のアルミ溶接の技術を活かすことを思いついた金山社長は、長崎の方と2人で必死に方眼紙に設計図を書きおこしながら、初めての車椅子をつくりました。



細部までこだわる姿から車椅子への愛を感じました



特集

人の心に寄り添うモノづくり

車椅子開発にかける思い

本業の真空によるアルミ溶接の高い技術力を活かし、20年前から利用者にとって座り心地がよく、介助者にとっても介助しやすい車椅子の開発と研究を続けている会社がこの黒部にあります。

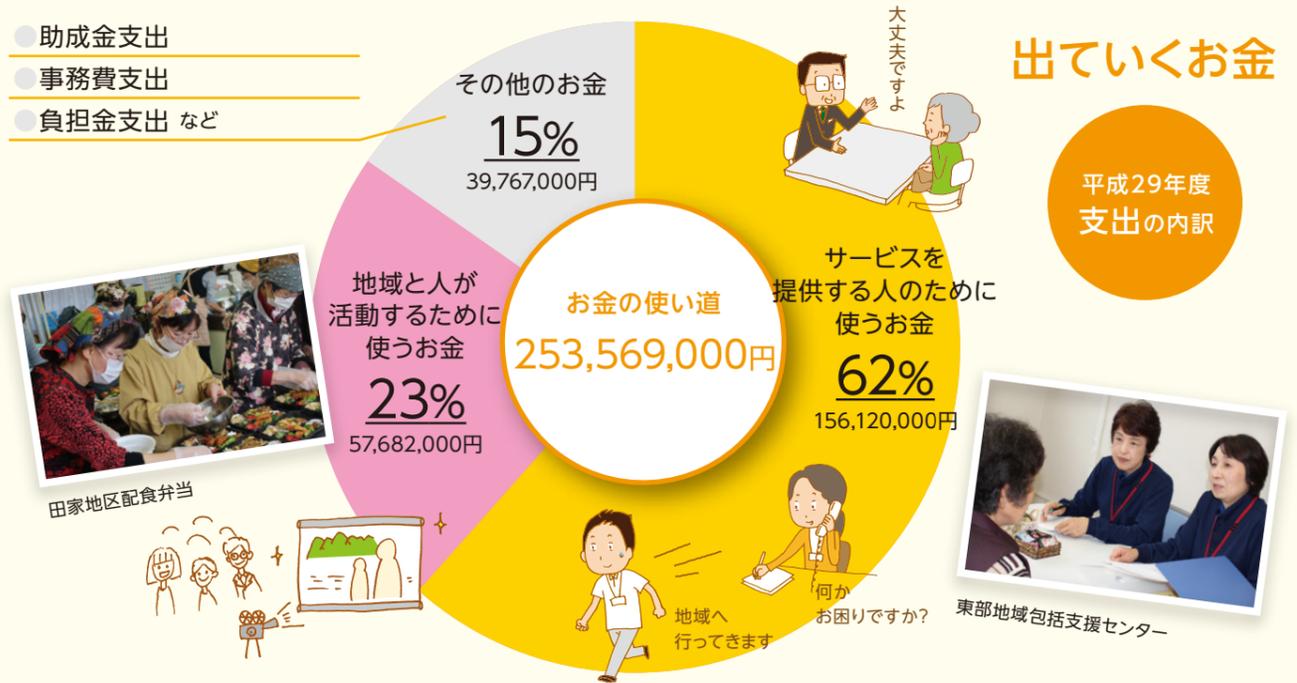
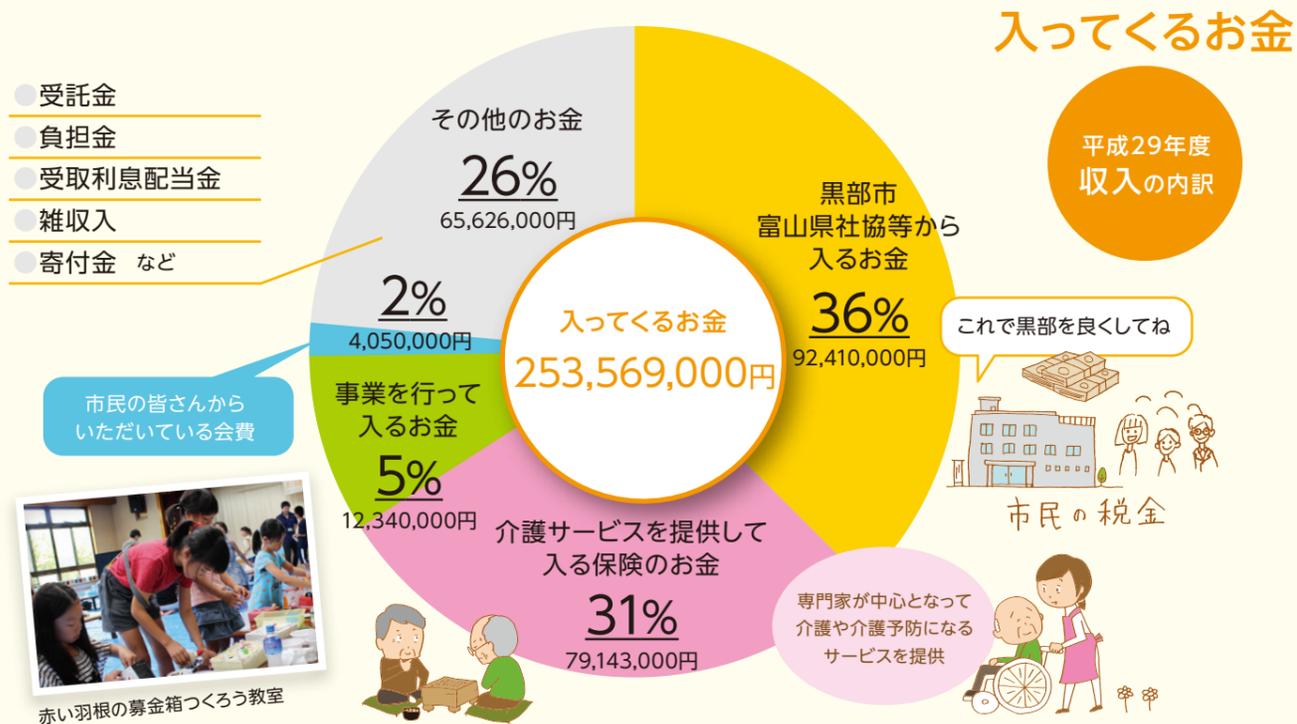
今回の特集では、この事業を立ち上げた金山社長の思いやその取り組みについて取材しました。

黒部市社会福祉協議会が目指す社会(ビジョン)

誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり

重点3項目

- 1.人材育成の環境整備 2.地域福祉推進の場づくりと拠点整備 3.財源の確保



平成29年度予算の詳細は黒部市社会福祉協議会のWEBでご覧いただけます。 <http://www.kurobesw.com/>

試行錯誤を繰り返しながら開発した車椅子は、使い心地の良さと共に介助者にとっても助しやすいものになりました。「ある日、開発し始めた頃につくった車椅子を使っている利用者さんから、部品が消耗して壊れたので直してほしいと電話がありました。その車椅子を工場に送ってもらったのですが、2年ぶりに届いた車椅子のフレームはゆがむことなく利用者さんの役に立っていたんだなと思いました。修理して使ってくれるほどこの車椅子を大切にしておられると思うと、なんだかうれしかったですね」と、2年前の思い出を振り返りながら金山社長は話されました。利用者にも介助者にもやさしい車椅子は、県内外にも広がり、ある高齢者の介護施設ですべてをカナヤママシナリーの車椅子にしているところもあるそうです。



利用者さんに長い間大切にいただいています

20年間の重みを感じる再会

出来ることを奪わない

「介助や介護を受けている人にある残存能力、つまり自分で出来ることを奪ってはいけないと思うんですね。例えば、施設に入っている方でも車椅子を調整して食べやすい姿勢にすることによって、自分で食事ができるようになります。自分で出来ることを広げ、残存能力を引き出していくことが大切です。ご本人が話されたり、できるまで待つたりして、自立を促し、残存能力を維持していくという見守りが大切な観点だと思っています」と話す金山社長は、利用者のできる部分を活かせる車椅子の開発を進めています。

お客様の声が原動力に

「今でも、まだ車椅子を良く出来るのではないかと考えていますね。まあ、10個考えて1つか2つが製品になるかな、つくるとは10倍大変。そして、それを売るのは100倍大変ですね」と笑いながら話す金山社長。モノづくりが好きで、そして何度も体験した苦労を乗り越える中で学んだ、会社としての存在意義やメーカーとしての責任が、開発を続ける原動力になっているそうです。「人の心に寄り添うモノづくり」を目指す、その思いは社員の皆さんにも浸透しています。

車椅子の開発から見えたまちづくり

私たちの生活は様々な制度やサービスによって支えられています。しかしながら制度やサービスといった公助の力に頼りすぎてしまうと、本来からある自身の力や互いに協力し合い、助け合う力を逆に弱めてしまうこともあります。金山社長のお話にあった「残存能力を活かす」という視点は、地域福祉においても同じことが言えると感じました。自助・互助・共助・公助のバランスがとれた、人の心に寄り添うまちづくりに地域全体で取り組んでいくことが、将来の黒部市の発展につながります。



HPIはこちら
カナヤママシナリー株式会社 <http://kanayama-m.com/>

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談 ご予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
5月9日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
5月11日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/5月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
5月16日(火) 13:30~15:30
お一人様につき同じ相談内容の場合は、
3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/5月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
5月15日(月) 10:00~11:30

今月の相談日



3月13日(月) 浜石田公民館

- 簡単な健康体操で体を動かしました
- 浜石田町内のシルバー談話室では高齢者など約30名が、体育指導員の新村解子さんの指導のもと、どこでもできる健康体操で楽しく体を動かしました。



来て見てヤンバイ映画館

[開催時間] 13:30から 入場無料

5月17日(水) 「社長太平記」
出演: 森繁久弥 加藤 大介
場所: 音沢公民館

5月

13日(土) 歌謡パラダイスふれあいショー 10:30~
27日(土) 日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典 10:30~
28日(日) 北川歌謡ショー 10:30~
30日(火) 黒部市老連カラオケ発表会 10:30~

休館日 毎週月曜日(1日・15日・22日・29日)
ゴールデンウィーク 4日(木)~8日(月)

6月

6日(火) #なんでもや~楽団り 10:30~
7日(水) こぶしカラオケ友好会 10:30~
16日(金) フラサークルイルマフラダンス 10:30~
24日(土) カサブランカ愛好会 10:30~

休館日 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)
6月10日・11日・17日・18日・25日は敬老会の為、入浴のみ利用できます
敬老会の日は定期バスが出ません。
ご迷惑をおかけいたします。

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30
[入浴時間] 10:00~16:00

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

- 囲碁・将棋クラブ 金曜日(12日・19日・26日)
- 元気カラオケクラブ 木曜日(11日・25日)
- 手芸部 木曜日(18日)

誕生日のお祝いにセンターの入浴券はいかがですか? 11枚綴り 3,000円



スマイル Vol.40

ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

自立援助ホームではどんな仕事をしていますか?

入所者の相談を受けています。自立援助ホームに入所できるのは15~20歳までとなり、その間に本人が将来を見据えて自立した生活をしていけるようにサポートしています。

心掛けていることは?

入所者に忙しい姿を見せないようにしています。忙しそうにしていると、相手が声をかけにくくなってしまふので、いつでも声をかけやすくしています。大変なこともあるけど、入所者が仕事に就き、退所していく姿を見るのが嬉しいです。

自立援助ホームうなづきホーム長

榎本 隆志さん(39)

得意なこと
冷蔵庫の残り物で料理
(変わったものが出来る事も?)



施設の概要を説明する榎本ホーム長

活動レポート

講座が開催されました

手話言語への関心を高めました

2月28日(火)夜7時から、黒部市役所2階会議室で「手話言語法・条例制定について」の講座が開催され、黒部市等の行政関係者を含む約40人が参加しました。講師に全日本ろうあ連盟手話言語法制定推進運動本部員の小中栄一氏を招き、手話を取り巻く厳しい社会環境の説明を交えながら手話言語法制定の意義について講演されました。
3月23日には県内初の手話言語条例が滑川市で成立し、手話言語への関心が高まっています。



小中氏の講演に聞き入っていました



人の心に寄り添うモノづくり
車椅子開発にかける思い



金山宏明さん



2017
5月 Vol.134



【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成29年5月1日発行

うなづき [参加費] 無料



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

[時間] 9:30~15:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	1 レクリエーション	2 健康体操B	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8 健康体操A	9 音楽教室	10	11 音楽教室	12 レクリエーション	13
14	15 音楽教室	16 健康体操B	17	18 レクリエーション	19 音楽教室	20
21	22 自力整体	23 趣味講座	24	25 趣味講座	26 自力整体	27
28	29 趣味講座	30 健康体操C	31	6/1 健康体操C	2 趣味講座	3

時間/10:00~ ※■は休館日

- 健康体操A 石田みどり先生
- 健康体操B 村田あゆみ先生
- 音楽教室 畠山悦子先生
- 健康体操C 岡崎明子先生
- 自力整体 稲田清美先生
- 趣味講座 簡単! 版画ポストカード作り(実費100円)

くろべ [参加費] 300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて

[時間] 10:00~11:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8	9 健康体操B	10 健康体操A	11 健康体操A	12 音楽療法	13
14	15	16 体操	17	18 音楽療法	19 体操	20
21	22	23 音楽療法	24 音楽療法	25 体操	26 健康体操A	27
28	29	30 健康体操A	31 体操	6/1	2 自力整体	3

時間/10:00~ ※■は休館日

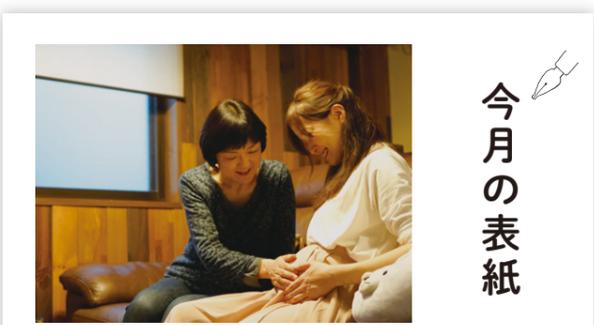
- 健康体操A 樋口 瞬先生
- 音楽療法 畠山 悦子先生
- 自力整体 稲田 清美先生
- 健康体操B 牧野 和子先生
- 体操 小森亜希子先生

脳活 脳活くらぶ 参加者を募集しています!

簡単な「読み」「書き」「計算」と参加者同士の交流で脳をいきいきと元気にさせます。認知症予防に興味のある方におすすめです。随時、体験会を行っておりますので、興味のある方は、お問い合わせください。

対象: 市内在住の65歳以上の教室参加希望者及びその家族

お申し込みは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765) 65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

5月はこどもの日と母の日があります。今月号ではもうすぐ母になる娘さんとお母様が、お腹の赤ちゃんに優しく語りかけています。赤ちゃんの元気な顔を見られる日が楽しみです。

編集 橋本

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

福祉・ボランティアに関することは
本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765) 54-1082(代表) FAX.(0765) 52-2797
TEL.(0765) 57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp
社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会
http://www.kurobesw.com/
宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765) 65-1165 FAX.(0765) 65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

ちよこつと情報 [黒部市の人口] 41,702人 [65歳以上の人口] 12,555人 高齢化率 30.1% H29.3.31 現在